

おかげさん

70号

真宗大谷派
高徳寺通信

2015年 春号



あきう

諦めるといふこと

「なんでインフルエンザなんビ!!」「風邪
なう無理しても行ったりのに…」数年前、
大好きなシユーランシャンが来日した時のこと。
前々からコンサートチケットを入手して
お休みをいただり、とても樂しみにしてい
た矢先にインフルエンザにかかり、結局、その
ライブを観ることは叶わなかった。こうい
うて結構引きずるんですね。「あきうめ
きれない…」って。現代において「諦める」と
いうと、自分の願いが叶わず、その思いを断ち
切るという意味で使われることが多いようで
すね。「あきうめる」というと祖父が亡くなり、
父親に「寺と一緒にやつてくれ」と頼まれた
時もかなり悩みましたね、アペレルメーラー
の営業の仕事をあきうめて寺に入ったこと

を思い出します。「あきうめる」という言葉は
どちらかといつと人間の消極的な心を表す
言葉として使われているようですが、実は、
「諦める」とは仏教用語として、「明らかにみ
る」という積極的大切な意味を持つて、
るのです。「諦」を用いる仏教語には、「諦観」
(あきうかくみる)や、「諦聴」(あきうかくきく)と
いう言葉があります。この「諦」は、サンスクリット語では Satya (サトヤ) と言って、「真理」と「道理」
を意味します。そうすると、「ものの道理をわ
きまえて」「みると、インフルエンザにかかり、大好
きなシユーランシャンのライブに行けなかっただけ…」私
の願望が達成されない理由は、インフルエンザ
にかかる様々な縁が成就して、私がライブに
行くことを成就させる縁が無かった、ということ…。
そこに納得が出来れば「諦められ
るのでしよう。単に「あきうめる」だけなら、
自分の上に「ものの道理」が明らかになら
なうば、納得して「諦らめられると」です。私
が寺に入る時のことにとってみてもそういうですね。

仕方ながら会社を辞めて寺に入るか、我が身をみてめて、賜られたご縁を“諦めて”寺をおあずかりする者となるのか…。そこには大変大きな違ひがあるのです。お釋迦さまがさとりを開かれて、初めて仏法を説かれたのが「四諦」という教えです。一つに、我々の人生は“苦”であること。(苦諦)二つ目に、その苦の原因は自らの煩惱によること。(集諦)三つ目に、その煩惱を滅すべば苦のない境地に到達出来ること。(滅諦)、そして四つ目に、苦の無い境地に到達するには、正しい行(八正道)・正見・正思・正語・正命・正業・正精進・正念・正定)をしながらばならないこと(道諦)です。頭ではなんとなく理解出来ますが、三つ目、四つ目は実践は叶いそうもないですね…。ものの道理をわきまえて、この身の事実から目を逸うざなけれど良いのですが、我々人間にとつて、それがなかなか出来ないところではないでしょうか。思ひ通りじょつと生きていても、なかなか思い通りにならない

事…しかし、田舎通りの道を歩めば、寄り道してしまったとしても、実はそれが田舎もようなかつた方との遭遇で繋がったり、田舎だけなことに、氣づけたりしたとしたら、その寄り道は無駄ではないですね。老病死…今、若くても、必ず老えて行きますし、健康に氣を遣つても、病氣になることもあります。自分が老いながら目を逸らし、病氣することに目を塞いでいたら、身の事実が全く見えないで、自分を誤魔化し、迷っていくばかりです。自分が年をとつていくことに頓き、年を入れていく。病氣をすることで、いろんな事に重ねることに魅力を感じ、老いを受け入れていく。病氣をする事もあるわけですが、生きられないことに氣づくこともあるのです。思ひ通りに行かない時に、「どういうこともありますなア…」と身の事実を引き受けしていく。(その時、自分事になると、そう簡単に引き受けられませんが…。)それが「諦める」ということなのではないでしょうか。春の彼岸会を縁として、自分自身を諦らかに見てみようではありませんか…。

2015年の年賀状。お話は「ことばとれた仏さま」ということについていたしました。



今年も本堂に於て修正会が勤まりました。
親鸞聖人が遺された偈、正信偈と同朋奉
讀をお参りの方々と一緒にお勤め出来まし
たこと有ること難いおかけさんだと思っており
ます。住職によるお文拝読とお話の後に茶
話会を味めました。離れて暮しているご家族が
毎年この修正会で集合されているご門徒が少
しづつ増えてきた様に思います。老若男女、和
氣藹々の場が尊いことだと感じました。境内

基地に大切な
方が眠られて
いるご門徒は、今
年最初、お墓
参りをされており
ました。来年も
1月1日の10時
にお待ちしてお
ります。



◆ お勤め・お話しが終って茶話会の図。

◆全員で「正信偈」
「同朋奉讀」をお勤
めしている様子。

◆今年も有縁の
方々と一緒に
記念撮影♪
この一瞬、皆
違ひ皆イイ…。



第12回

新緑の

山形ク

高徳寺旅行会

を味わう旅

2015年

5月20日(水)~22日(金)

今回は自然と美味しいものの宝庫、山形を
ゆったり、たっぷり、のんびりと味わってみたいと思って
おります。“蕎麦街道”と呼ばれる程の蕎麦の魅力。
初日は蕎麦をすすってから西蓮寺さんへお参りし、銀山^{ぎんざん}
温泉で大正ロマンに身をゆだねましょう。二日目は最上
川を下り、酒田を目指します。山居倉庫^{さんきょ}や相馬樓^{さうまろう}などを
見聞した後は、鶴岡で宴を楽しみ、温泉でリラックス。
三日目は、出羽三山に足を踏み入れて、自然の中で
山がもつ神祕さを味わいたいと思います。
今年も住職が真心を込めてご案内いたします。
お説い合わせの上、是非ご参加ください♪

*お申し込みは

4月17日(金)

までに申し込み用紙(別紙)
にご記入の上、住職まで
お願ひいたします。

春彼岸会法要

3月18日(水) ~ 24日(火)

今年の春のお彼岸は
この一週間です。

3月21日(土・春分の日)

11:30より本堂にて^{えいたい きょう}永代経の法要が勤まります。

みなさまでもお参りになれますので、本堂にお上がりください。

永代経

……「永代に渡ってお経をいたたく」という意味で、
永代経法要を通して代々に渡って伝えられてきた
お念仏のいわれを深くたずね、仏法聴聞の場
に身を据えることを願とした法要です。
お時間を作り、お説き合わせの上 お参りください。

3月21日と22日は「新井白石記念ホール」が

お休み処・お待ち合わせ場所となります。

どうぞご利用ください♪

「真宗門徒のつどい」のご案内

2015年6月19日(金) 13時~18時半(受付から懇親会終了まで)

- ◆ 場所……真宗会館(練馬区谷原1-3-7 / TEL: 03-5393-0810)
- ◆ 講師……^{まんぢゅみちとし}菱田通俊先生(大阪市旭区・願光寺住職)

みなさまも参加出来る仏法を味わう“場”です。

詳細は住職が真宗会館にお問い合わせください。

Omigaki Houshi Onrei

伊藤 隆介さん	杉村 健一さん	朴木 妙子さん
伊藤 由利さん	崇島 晓美さん	朴木 香さん
奥野 登子さん	橋 徳子さん	朴木 優香さん
片桐 康利さん	近松 勇一さん	水越 拓路さん
清水 和夫さん	塚田 和子さん	水越 和子さん
清水 和美さん	富田 博司さん	峯 節子さん
菅原 悟さん	仁野平延芳さん	柳沢 佐智子さん
菅原 千恵子さん	古谷 紀代美さん	山内 貞子さん

◆有り難うございました… m(_ _)m (あいわえお順)

2014年12月28日実施

おかげさんで修正会には輝く仏具でお勧め出来ました。

カンパ御礼

阿部 磯村 神野
部る貴 くらう くらう
魚 美子 さん さん さん
さん さん さん

訂正 がります。

69号の年中行事の10月
のところに2ヶ所間違ひがありました。

報恩講の講師

「佐野明弘先生」とありましたか…

→ 2015年10月24日(土)の講師は

「海 法龍(かいほうりゅう)先生」です。

「御修復記念法要」とありましたか…

→ 通常の報恩講の法要となります。



「いかのおすし」を「存知だらうか。」「行かな」「車に乗うな」「大声を出す」「すぐ进げる」「知らせる」…の頭文字。不審者に声をかけられた時の心構えを子供達に覚えてもらうための合言葉だそうだ。今年2月に起きた群馬県警官による女兒誘拐未遂事件の被害者の小学四年生の女の子は、「パパが交通事故に遭って病院に運ばれた」とウンをつかれ、車に乗るよつて説やれた際に、「いやです!」と毅然と拒んだことで未遂に終わったそうだ。群馬県と県警の努力で子供達に「いかのおすし」が浸透してきただけであろう。が、その県警の捜査が犯人なのだから、不真実な人間の闇は相当に深い…。眞実である“南無阿弥陀佛”にいつも触れさせていただくこと、お念佛を祈えることが我々人間には必要なんだ

